

## これまでの実践内容と成果

### 1. 農業者の所得増大と農業生産の拡大に向けた取り組み

#### 高品質安定生産

- 水稻では5割減々栽培による環境に配慮した米作りで良品質・良食味米生産を推進するとともに、「佐渡米未来プロジェクト品質向上90」の取り組みを継続し、1等米比率が向上しました。  
コシヒカリBL86.2%（前年71.9%）  
五百万石92.3%（前年81%）
- ルレクチエは栽培面積の拡大、アンポ干柿は大口生産者の出荷量の増により、それぞれ生産数量が拡大しました。  
ルレクチエ98.7t（前年95.5t）  
アンポ干柿48.2t（前年46.7t）
- アスパラガスでは、生産者50名・栽培面積5ha・販売金額5千万円を目指す55（ゴーゴー）運動に取り組み、新たに3名の方が栽培に取り組みました。
- 農繁期の労働力確保のため、無料職業紹介事業に取り組み、柿の摘蕾作業で2名紹介、柿収穫作業で1名紹介の実績となりました。



アスパラガス 出荷目合わせ会

#### 販売力強化

- 水稻では島内の酒蔵会社、県内外の販売業者と打合せを行い実需者ニーズの把握に努めました。  
打合せ回数3回（前年1回）
- おけさ柿は市場、仲卸、販売店との打合せ回数を増やし、販売先との結びつき強化を図りました。  
打合せ回数12回（前年8回）  
また、先行産地からの売場切り替え促進のため、東京と北海道で早期からの販売促進を実施しました。  
産地独自の販売促進33回（前年10回）



おけさ柿 販売促進

- ルレクチエは市場経由のギフトと直販の増加に取り組みました。  
19.4t（前年15.9t）

### トータルコスト削減

- 柿の安価な肥料として「エコレット208」や、県下で銘柄を集約した水稲県下統一肥料「越後の輝き」および全国のJAを6ブロックに分けて集中配送・集中製造する「化成肥料14-14-14（オール14）」の取り扱いを始めました。  
「エコレット208」「ニュー柿元肥専用008」より約18%の価格低減  
「越後の輝き50元肥」「さおとめ有機」より約15%の価格低減
- おけさ柿選果場資材のコスト削減にむけて、低コスト段ボールの輸送試験を実施しました。

## 2. 地域の活性化に向けた取り組み

### 次世代・消費者の理解促進に向けた食農教育の展開強化

- 羽茂小学校の農業体験学習をサポートしました。小学校の圃場で柿の摘蕾作業の指導を行い、児童の皆さんには柿の栽培の難しさ、楽しさを体験してもらいました。
- 南佐渡中学校の職場体験、羽茂小学校の職場見学を受け入れました。児童・生徒の皆さんにJAの仕事について学んでもらいました。



羽茂小学校 柿摘蕾指導

### 自己改革完遂に向けた取り組み

- 自己改革意見の更なる実現に向けて、担い手の皆様との意見交換会を開催しました。今後の農協経営に反映させるべき貴重なご意見をいただきました。



自己改革意見交換会